

平均燃費約30%良く

グリーン経営 管理徹底や意識向上で 認証の効果

交通エコロジー・モビリティ財団は、グリーン経営認証取得による効果をまとめた。同認証を取得した事業者が提出しているチェックリストの結果から、平均燃費は全国平均の1.2倍あたり3.27キロリより29.7%多い4.25キロリ(表参照)であることが分かった。

二〇一二年三月末現在、二・四%にあたる。認証を取得した事業者数はトトラックの場合、三千七百一社五千七百九十八事業所。事業者数は全国六万二千九百八十八社の四・八%だが、保有台数でみると十多万五千三百台で、全百二十万三千九百二十四台の一(二〇〇三年十月)事業者

二・四%にあたる。認証事業者の平均燃費は、認証前後の二年間で比較した場合、車両総重量八ト以上で四・七六%、八ト未満で四・八六%向上。取得年度が古い事業者ほど改善されており、最も古い最大積載量区分でみると、四ト以上六ト未満は四

七・四%多く、一ト未満で

全国平均燃費と認証取得事業者の燃費 単位=km/L、%

最大積載量	全国平均	認証取得事業者	
		燃費	改善率
1t未満	9.32	9.94	106.6
1t以上2t未満	6.19	8.10	130.9
2t以上4t未満	4.58	6.01	131.2
4t以上6t未満	3.79	5.59	147.4
6t以上8t未満	3.38	4.47	132.3
8t以上10t未満	3.09	3.58	116.0
10t以上12t未満	2.89	3.61	125.0
12t以上17t未満	2.62	3.45	131.9
加重平均	3.27	4.25	129.7

も六・六%良かった。燃費が改善した背景として、エコドライブの徹底、ドライバーの燃費に対する意識向上、デジタコを導入、燃費管理の徹底、エコドライブ講習の実施・参加などにより変化があったとの意見が多くみられた。

年間のCO₂排出削減量は、総重量八ト以上で二十五万八千四百四十ト(五・六八%削減)、八ト未満で七万五千四百九十一ト(五・二三%削減)となる。

指標は、認証事業者の低公害車保有率は、天然ガス車(CNG車)で一・六八%、ハイブリッド車で〇・五六%。ハイブリッド車は全国の普及率が〇・七〇%でありこれを下回っているが、CNG車は全国平均の一・二二%を上回っている。

交通事故件数を取得前と取得後一年目を比べた場合、走行距離十万キロあたり〇・二四件から〇・一八件へと二四・四%減少、車両故障台数も〇・二三件から〇・一七六件へと二〇・八%減少した。

このほかの